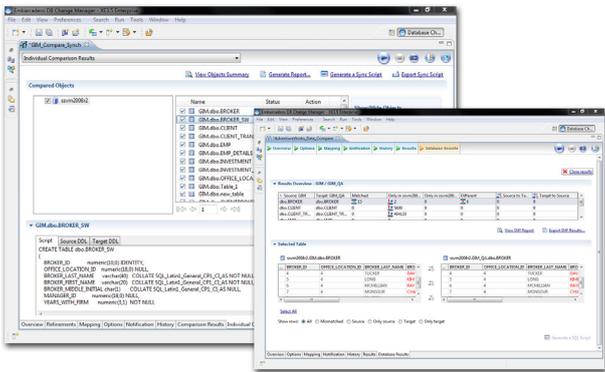




Embarcadero DB Change Manager は、データベースの変更管理を簡素化し、自動化する包括的なクロスプラットフォームソリューションです。システムの可用性、パフォーマンスを高め、データガバナンスの推進を支援します。複数データベース間での比較、分析、同期をサポート。本番データベースとアーカイブ済みのスキーマ/設定のスナップショットの比較により、データベースに関する計画的な変更と予期しない変更の双方を確実に捕捉し、適切に対応できます。



「開発環境から運用環境にコードを移行するには、一気に移行を完了させる力仕事と、細かい調整を加える繊細な作業の両方が必要となります。メジャーリリースに当たっては、数百のテーブルが関係してくるため、DB Change Manager を導入して、スキーマ比較作業の負荷を大幅に軽減しました。」

Alan Woodling 氏 (国際的な大手レストランチェーンでシニアデータベース管理者を務める)

データベース管理者は、設計者、開発者、アーキテクト、アナリストなど、多くスタッフが関わる複雑なワークフローの中心に位置します。ソフトウェア開発プロジェクトでは、管理下にあるデータベースが、物理的に複数コピーされ、それぞれ異なる目的で利用されます。

また、データベース開発者も、開発中に行ったデータベースへの変更が、これら複数のデータベース環境に正しく反映されているかを注視していなければなりません。

開発フェーズと運用フェーズのそれぞれにおいて、データベースに対する変更は極めて重要な意味を持っていますが、昨今では、これに加えて、データガバナンスの要求が高まり、データベース変更管理が改めて注目されています。

データベース変更管理ツールには、以下のような機能が求められます。

- データベースの構造的な変更を行う場合の変更の保存 (ロールバック可能にする)
- 複製されたデータベース環境の比較、同期
- 開発、テスト、運用環境の間でのデータおよびスキーマの管理

DB Change Manager は、マルチプラットフォーム対応のデータベース変更管理ツールです。複数のデータベース環境を単一のインターフェイスから利用でき、スキーマやデータの変更を効率的に管理できます。

データベースの変更をすばやく反映

ライブデータベース比較により、データベースの同期をサポート。変更を反映するためのスクリプト生成も行います。ターゲットに変更を加える前に、スナップショットをキャプチャーするので、必要に応じて、スキーマの変更をロールバックできます。DB Change Manager は、DB2 for LUW、Oracle、SQL Server、Sybase の各固有機能、オブジェクト、オプション、構文をサポートしています。

データベースの変更箇所を追跡し、レポート

ベンダーのパッチ、またはカスタマイズによるパッケージアプリケーションデータベースの変更を検出しレポートを出力。データベース内で実環境のパフォーマンスや機能に影響を与える可能性のある不適切な変更も報告します。データベース内の特定部分が変更された場合の通知機能も用意されており、データモデラーのためのテーブル情報、開発者のためのスタアドプロシージャなど関係者への通知などが可能です。

データベースの監査、レポート要求に対応

特定期間内でのデータベースへの変更を、定期的または任意に認識し、報告できます。データベースの脆弱性を最小化するための策定された標準に対して、データベースの設定内容の監査が可能です。

開発段階での個人情報保護をサポート

自動同期ジョブにおけるデータ比較で、カラムをシャッフルまたはランダム化できます。実環境のデータを開発、テスト、QA 環境で使う場合、個人情報の保護が問題となります。このような用途でも利用できるマスキングされたデータを、すばやく用意できます。

DB Change Manager 導入のメリット

- データベースの変更を複製された他のデータベース環境にすばやく反映させることができます。
- データベースの変更箇所を追跡し、レポートを出力することで、明確に変更を把握することができます。
- これにより、データベースの監査や報告義務といった要件に応えコンプライアンスに対応できます。
- 開発やテスト段階で使用するデータにおける個人情報保護を確保できます。
- データベースの変更に関するリスクを軽減し、データガバナンスを推進できます。

基本機能	
マルチプラットフォームサポート	単一のインターフェイスから主要なデータベースをすべてサポート
ネットワーク型ライセンス	ライセンス管理の集中化機能を使用可能（ネットワークライセンス利用時）
ジョブ通知	Eメールでジョブステータスを通知
Unicode サポート	製品の全機能において Unicode の完全サポート
スキーマ、データ比較と同期	
スキーマのアーカイブ・比較	スキーマのアーカイブをキャプチャー、アーカイブ化し、稼働中のデータベースとの比較。スキーマの比較実行結果の確認
同期とロールバック	選択されたオブジェクトの同期、過去の状態へのリストアスクリプトの生成、オブジェクト依存性の制御とデータの保全
スキーマの自動同期	比較の成功後にソースとターゲットを自動同期。スキーマ変更を開発環境からテスト環境、運用環境へ反映可能
データ比較と同期	同一DB内または2つの異なるデータベースの間でのデータの比較と同期

監査とコンプライアンスレポート	
設定の標準化	標準化のために、独自または稼働中の設定パラメータ値を使用。他の標準設定を用いてデータベース設定を監視し、セキュリティ強度とパフォーマンスの標準を確認
データマスキング	自動同期によるデータ比較ジョブで、カラムをシャッフルまたはランダム化可能
設定およびスキーマのアーカイブ	スキーマと設定のアーカイブによりコンプライアンス監査とレポートに利用可能な時系列での記録を提供
スキーマ比較詳細レポート	2つの時点間、または稼働中の2つの環境間でのオブジェクトの変更点について、DDL の差異を色分けして表示

データベースの変更に関するリスクを軽減し データガバナンスの推進をサポート

DB Change Manager を用いれば、データベースの同期と変更の確認／レポートが可能になります。データガバナンスの推進においては、データベースに対する変更を追跡し、確実にレポートできるとともに、不適切な変更をロールバックできるようにデータベースを保護しなければなりません。DB Change Manager の強力なデータベース変更管理機能は、これらの要求に応えらるとともに、開発段階での変更管理要求、個人情報保護の問題にも対処。データベース管理者およびデータベース開発者は、データベースの確実な運用とコンプライアンスの準拠を実践できます。



DB Change Manager の無料トライアル版は www.embarcadero.com/jp/downloads からダウンロードいただけます！